

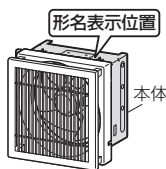


2602876HJ0401



三菱 クリーンコンパック 換気扇

20cm・25cm・30cm



形名によって据付・取扱方法が異なりますので、予めご使用の形名をご確認ください。

格子タイプ

形名	シャッター方式	運転方式
EX-20LK10-C EX-25LK10-C	連動式	引きひも
EX-20LK10-M EX-25LK10-M		引きひも・速調付
EX-30FK10-C	電気式	埋込スイッチ
EX-20EK10-C EX-25EK10-C EX-30EK10-C		埋込スイッチ
EX-20EK10-M EX-25EK10-M	風圧式	埋込スイッチ
EX-20SK10-C EX-25SK10-C EX-30SK10-C		埋込スイッチ
EX-20RK10-C EX-25RK10-C EX-30RK10-C		引きひも・給排式

インテリアタイプ

形名	用途	シャッター方式	運転方式
EX-20LX10-C	居間用 店舗用	連動式	引きひも
EX-25FX10-C			引きひも・速調付
EX-20EX10-C EX-25EX10-C		電気式	埋込スイッチ

取扱説明書（据付説明書付）

お客様へ

- ご使用の前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 「取扱説明書」は大切に保存してください。
- お客様ご自身では据付けないでください。（安全や機能の確保ができません。）

工事店様へ

- 据付けを始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。据付けは販売店・工事店様において実施してください。
- 電気工事は販売店・工事店様において有資格者である電気工事士の方が実施してください。（無資格者の電気工事は法律で禁止されています）

据付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

据付説明書

工事店様へ

1.安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告
誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止

- 高温（室内温度40℃以上）になる場所や直接炎のあたるおそれのある場所には据付けない
火災の原因。
- 改造しない
火災・感電の原因。
- 製品を水につけたり、水をかけたりしない
ショートや感電の原因。
- 浴室など湿気の多い場所や結露する場所には据付けない
感電・故障の原因。
- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に据付ける場合、換気扇金属部とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないように据付ける
漏電した場合発火の原因。
- 電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って有資格者が安全・確実に行う
接続不良や誤った電気工事は、感電や火災の原因。
- 交流100Vを使用する
交流100V以外を使用すると火災や感電の原因。

水ぬれ禁止

浴室取付禁止

指示に従う

注意
誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

禁止

- 天井には据付けない
落下によるけがの原因。

指示に従う

- 本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う
落下によるけがの原因。
- 据付けの際は手袋を着用する
けがの原因。
- 部品の据付けは確実に
行う
落下によるけがの原因。

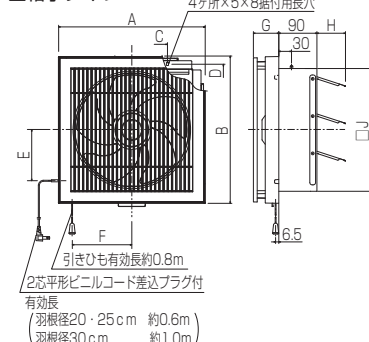
お願い

- 下記の場所には据付けないでください。

- ・温泉地 ・塩害地域 ・薬品工場
- ・養鶏・養豚場のようなほこりや有害ガスの多い場所
- ・台所など油で汚れやすい場所 ・カーテン・ひもなどが触れるおそれのある場所
- ・直射日光が当たる場所
- ・火災警報器がある場合、感知部から1.5m以内の場所（RK10タイプ）
- ・燃焼排ガスなどを吸い込むおそれのある場所（RK10タイプ）
- ・外風の強い場所（SK10タイプ）
- 雨水の直接かかる場所では雨水が浸入することがありますので、専用ウェザーカバーをご使用ください。
- ダクト接続はできません。
- 天井・壁から70mm以上離れたところに据付けてください。
- 床面から1800mm以上のメンテナンス可能なところに据付けてください。
- 空気の流れが必要なため、換気扇は対面に入出口・窓などがあるところに据付けてください。
- 外風の強い場所・高気密住宅への設置には下記のような症状が発生する場合があります。
 - ・羽根が止まったり逆転する
 - ・停止時に本体のすき間から外風が侵入する
 - ・外風でシャッターがばたつく
 - ・換気しない

2.外形寸法図

■格子タイプ

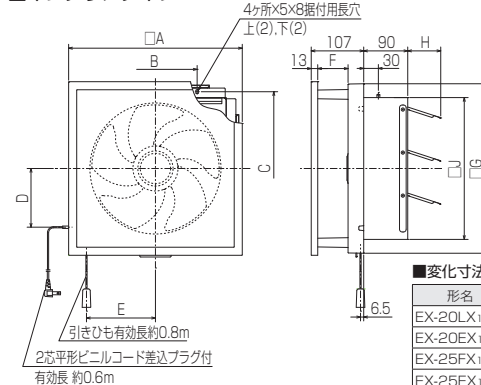


■変化寸法表

形名	A	B	C	D	E	F	G	H	J
EX-20LK10-C, M	296	296	120	265	100	116	64	52	240
EX-20EK10-C, M						116			
EX-20RK10-C								40*	
EX-20SK10-C						141			
EX-25LK10-C, M						141		68	290
EX-25EK10-C, M	346	346	170	315	120	141	60		
EX-25RK10-C						141			
EX-25SK10-C								57*	
EX-30FK10-C						166			
EX-30EK10-C	396	396	220	365	140	166	80	85	340
EX-30RK10-C						166			
EX-30SK10-C								70*	

※風圧式シャッター（SK10タイプ）の場合、外風・室内圧等の影響により開き寸法が変化します。

■インテリアタイプ



■変化寸法表

形名	A	B	C	D	E	F	G	H	J
EX-20LX10-C	315	120	265	100	116	58	296	52	240
EX-20EX10-C									
EX-25FX10-C	355	170	315	120	141	62	346	68	290
EX-25EX10-C									

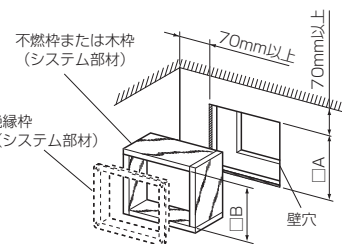
3.壁穴工事

壁穴・木枠の寸法

壁穴の寸法は木枠（不燃枠）の厚さに応じ異なりますが板厚20mmの場合下表の寸法となります。

機種	A	B
羽根径20cm	290	250
羽根径25cm	340	300

※木枠の内寸法Bは、うちわボルト据付の場合±5、木ねじ据付の場合±5の範囲内で製作してください。



※木枠の室内側の面が壁面と同一面になるように据付けてください。パネル落下の原因になります。
※絶縁枠は据付け壁面が金属板などの場合に使用してください。

○木枠作りのお願い

板厚20mm以上で室外側下部に約5°の傾斜をつける…雨水浸入防止
木枠内のり寸法が小さい木枠に据付けると本体が変形したり、シャッターが動作しないことがあります。

壁穴位置

天井、壁から70mm以上離す。
必ず床面より1800mm以上のメンテナンス可能な位置に据付ける。

4.電気工事

工事	タイプ	LK10・FK10・RK10・LX10-C・FX10-C	EX10・SK10・EX10-C
コンセント工事	右記の①、②のいずれかを実施してください。	①専用コンセントを設ける場合、換気扇近くに設けてください。 ②換気扇内部にコンセントを設ける場合、別売システム部材のコンセント取付金具（P-1X2）を使用します。 コンセント取付金具の据付説明書を参照してください。	本体にスイッチが付いたため操作しやすい場所に埋込スイッチ（システム部材）を設けてください。
埋込スイッチ工事		本体に引きひもスイッチが付いていますので不要です。	

■埋込スイッチ・埋込コンセントの取付ボックスは、JIS C 8340に規定の市販品を利用してください。

5.据付方法

⚠ 注意

●据付けの際は手袋を着用する
けがの原因。

本体の固定のしかた
固定金具
うちわボルト

シャッター
ウェザーカバー（システム部材）
不燃枠または木枠（システム部材）
据付用長穴（木ねじ用）

モーター
本体
羽根
はすしボタン
電源プラグ
引きひも

【格子タイプ】
ツメ（裏側）
パネル
薄肉部
コード引出口

【インテリアタイプ】
ツメ（裏側）
パネル
薄肉部
コード引出口

【電源コードの引き回しかた】
※電源コードは金属力バーの上を通して引き出してください。
コードの長さはコード掛けに巻き付けて調節してください。

コード掛け
※2か所起こして使用してください。電源コードのかみ込みや傷付きが生じないようにしてください。

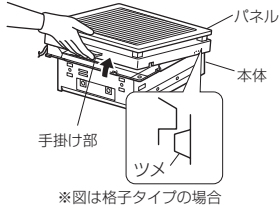
金属力バー
電源コード
コード掛け
絶縁テープ

※EK10・SK10・EX10-Cタイプはシステム部材の埋込スイッチが必要です。
シャッター方式が電気式・風圧式のタイプには引きひもはありません。

1 パネルと羽根をはすす

(1) パネルをはすす

- 手掛け部を手前に引いて、パネル裏側上面のツメを本体からはすす。



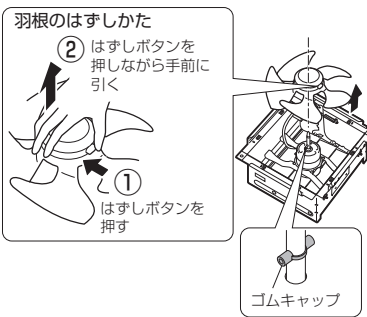
※図は格子タイプの場合

(2) 羽根をはすす

- 羽根中央部を軽く持って、はすしボタンを押しながら手前に引く。

お願い

- モーター軸ピンのゴムキャップははずさないでください。異常音発生の原因。
- シャッターを開いたまま床などに置かないでください。シャッターが変形し動作しないことがあります。

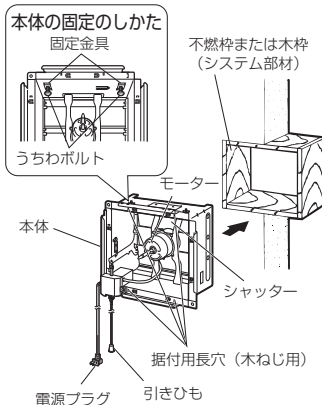


2 本体を据付ける

- 「うちわボルト」2本で確実に固定する。または市販の木ねじで据付用長穴上（2）・下（2）計4か所固定する。
- 2.5m以上の高さに据付ける場合は安全のためうちわボルトは使用せず、必ず市販の木ねじで据付用長穴上（2）・下（2）計4か所固定する。

お願い

- うちわボルトを使用しない場合は、うちわボルトおよび固定金具をはずしてください。
- 市販の木ねじは、めっき等を施した耐食性のある鉄製のねじを使用してください。



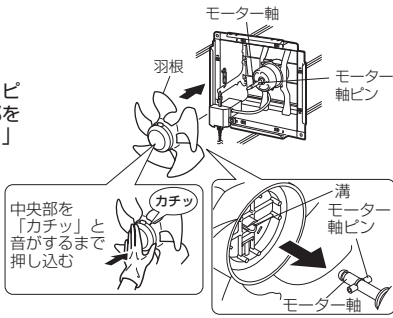
3 コンセントの位置に合わせ電源コード引出口を決める

- ①左右の上下4か所のいずれか1か所から電源コードを引出す。
※上部から引き出す場合は、薄肉部をカッターナイフなどで切り取る。（切断部がエッジにならないように加工してください）
- ②電源コードのたるみが、羽根・パネルに当たらないよう、コード掛けを起こして巻き付ける。
※電源コードを巻き付けた後は、コード掛けを倒して電源コードを固定してください。

4 羽根とパネルを取付ける

(1) 羽根を取付ける

- ①羽根は裏側の溝をモーター軸ピンに合わせながら、羽根中央部をモーター軸に挿入し、「カチッ」と音がするまで押し込む。
- ②羽根中央部を軽く手前に引っ張り、羽根が確実に取付けられていることを確認する。

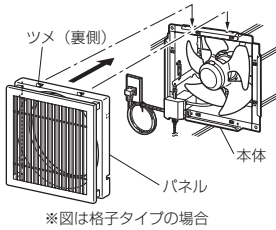


⚠ 注意

- 部品の据付けは確実に行う
落下によるけがの原因。

(2) パネルを取付ける

- パネル裏側上面のツメを本体上部に引っ掛けて取付ける。



※図は格子タイプの場合

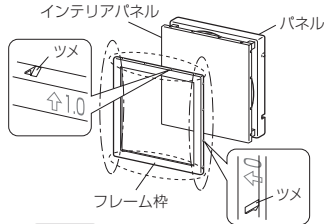
インテリアパネルについて

(EX-20LX10-C・EX-25FX10-C・EX-20EX10-C・EX-25EX10-C)

■インテリアパネルのフルフラット化

フレーム枠を取りはずすことにより、インテリアパネルのフルフラット化が可能です。

- ①フレーム枠をインテリアパネルからはすします。
●右図のようにフレーム枠のツメ（合計16か所）を外側に引っ張りながらはすします。
- ②インテリアパネルがフルフラットになります。
※はずしたフレーム枠はなくさないように保管してください。



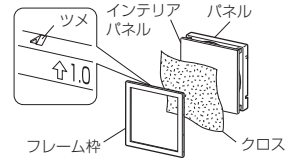
お願い

- インテリアパネルとパネルの
吻合部ははずさないでください。
ツメ部が破損します。

■クロス貼りのしかた（インテリアパネルにクロス貼りが可能です）

- ①フレーム枠をインテリアパネルからはすします。
●フレーム枠のツメ（合計16か所）を外側に引っ張りながらはすします。
- ②右表を参照してクロスを切り、クロス裏側ののりを塗ってパネルに貼り付けます。
●クロスを貼付けた後は、ハケなどを使ってしわを伸ばしてください。
- ③フレーム枠を取付けます。
●右図のようにフレーム枠の裏面に刻印されている「△1.0」を上側にして取付けます。
●フレーム枠のツメ（合計16か所）が確実に取付けられているか確認してください。

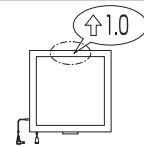
単位(mm)		□A	厚み1mm以下
機種	A		
羽根径20cm	310		
羽根径25cm	345		



※インテリアパネルにクロス貼りする場合は、水溶性ののりを使用してください。
※クロスの厚みは、1mm以下にしてください。

お願い

- クロス貼りのしたパネルにフレーム枠を取付ける場合は、必ず「△1.0」側を上側にして取付けてください。誤って「△0」側を上側にして取付けた場合は、無理に取付けるとツメ部が破損するおそれがあります。
※「△0」、「△1.0」は、フレーム枠の裏面に刻印されています。



6.据付後の確認および試運転

- 据付作業終了後、試運転の前にチェック表に従って点検します。
- 不具合があった場合は必ず直してください。
(機能が発揮されないばかりか、安全が確保できません)
- お客様立ち会いで試運転を行ってください。

	チェック項目	不具合の対策	チェック
試運転前	電源は100Vですか？	100Vに直します。 (異電圧を印加すると製品が破損します)	
	本体の据付け強度は十分ですか？	うちわボルトまたは木ねじで確実に固定します。	
	パネルが確実に取付けられていますか？	パネルを取付け直します。	
	羽根が確実に取付けられていますか？	羽根を取付け直します。	
試運転時	(引きひもスイッチタイプの場合)引きひもを引いて動作を確認しましたか？	引きひものからみなどを直します。	
	(壁スイッチタイプの場合)スイッチと本体の動作は合っていますか？	結線を直します。	
	羽根当たり音がしていませんか？	パネルをはずして配線の処理、羽根・パネルなどの部品を取付け直します。	
	シャッターが正常に作動していますか？	シャッターの変形、部品の取付け、木枠の内寸法を確認します。	

7.お客様への説明

取扱説明書に従って、正しい使い方をお客様、発注者または管理者にご説明ください。

取扱説明書

お客様へ

1.安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	 注意	誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
 禁止	●ガス漏れに気づいたら、換気扇のスイッチを入・切や電源プラグの抜き差しはしない 爆発・引火の原因。	 禁止	●引きひもを急に引っばったり、斜めに引っばらない 引きひもが取れて調理器具等の高温部や炎に手などが触れ、火傷・けがの原因。
	●電源コードを傷つけたり、加工したり、たばねたりしない 火災・感電の原因。		●運転中は、羽根の中に指や物を入れない けがの原因。
 水ぬれ禁止	●本体各部に直接水やお湯をかけない ショート・感電の原因。	 接触禁止	●羽根や部品の取付けは確実に行う 部品の落下によりけがの原因。
 分解禁止	●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客様相談窓口にご相談ください。	 指示に従う	●お手入れの際は手袋を着用する けがの原因。
 ぬれ手禁止	●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電・けがの原因。		●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く 感電・ショートして発火の原因。
 指示に従う	●お手入れの際、電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は、よく拭く 火災の原因。	 プラグを抜く	●長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。
	●交流100Vを使用する 交流100V以外を使用すると火災や感電の原因。		
 指示に従う	●異常・故障時には、直ちに使用を中止する 発煙・発火、感電、けがの原因。 〈異常・故障例〉 本説明書末尾の「愛情点検」をご参照ください。	 指示に従う	
	●お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカーを切る 感電・けがの原因。		

2.使用方法

- LK10・LX10-Cタイプ
引きひもを引くごとに「入」↔「切」します。
- EK10・SK10・EX10-Cタイプ
壁スイッチで「入」↔「切」します。
- FX10-C・FK10タイプ
引きひもを引くごとに「強」→「弱」→「切」に切り替わります。
- RK10タイプ
引きひもを引くごとに「排」→「給」→「切」に切り替わります。

お願い

- 引きひもはゆっくりとまっすぐ下に引いてください。(引きひもスイッチタイプ)
斜めに引いたり急に力を加えますと、引きひもが取れたりスイッチが故障する原因になります。引きひもが取れた場合は、お買上げの販売店または工事店にお申しつけください。
- 給気運転時は、雨水・雪・霧を吸い込み、室内に水滴が滴下することがありますので、そのような場合には「給気運転」を停止してください。
- また、換気扇の下に書棚等を設置しないでください。(RK10タイプのみ)
- 換気扇設置場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用しないでください。(製品の寿命が短くなる場合があります)

お知らせ> RK10タイプのみ

- 給気運転時は直接外気が吸い込まれ、虫・ほこりなどが侵入するおそれがあります。
- 冬期、結露によって本体から結露水が滴下することがあります。

3.お手入れ

警告

- お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る。感電・けがの原因。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。感電・けがの原因。
- 本体各部に直接水やお湯をかけない。ショート・感電の原因。

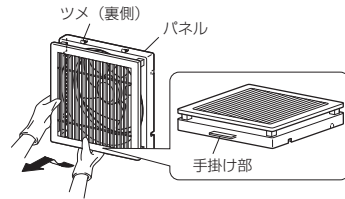
注意

- お手入れの際は手袋を着用する。
けがの原因。

3.1 各部品のはずしかた

(1) パネル

- 手掛け部を手前に引いて、パネル裏側上面のツメを本体からはずす。



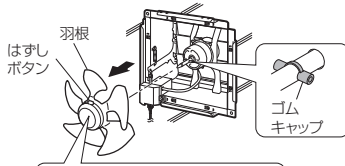
※図は格子タイプの場合

(2) 羽根

- 羽根中央部を軽く持って、はずしボタンを押しながら手前に引く。

お願い

- モーター軸ピンのゴムキャップははずさないでください。
異常音発生の原因。



羽根のはずしかた
はずしボタンを押す

(3) 本体

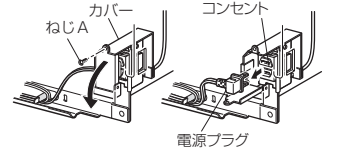
お願い

- 本体が木ねじで壁に固定されている場合は、本体を壁からはずさないでください。
壁側のねじ穴が破損し、製品落下の原因。
- シャッターは本体からはずさないでください。
動作不良の原因。

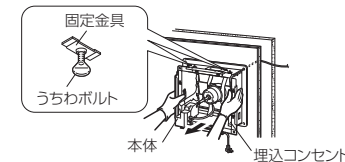


〈内部コンセントがある場合〉

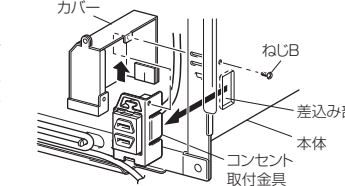
- ① 換気扇のプラグを抜く
ねじAを取りはずし、カバーを開ける。
コンセントからプラグを抜く。



- ② 本体を手前に4cm程引き出す
「うちわボルト」をゆるめ、本体を手前に4cm程引き出す。



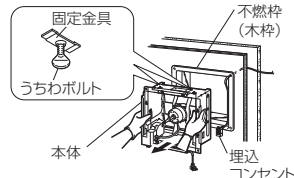
- ③ コンセント取付金具とカバーをはずす
本体側面のコンセント取付板の固定ねじBをはずす。
屋内配線コードを埋込コンセントに付けたまま、コンセント取付金具を手前に引いて本体からはずす。



- ④ 本体をはずす
不燃枠（木枠）から本体をはずす。

〈本体の近くにコンセントがある場合〉

- 電源プラグをコンセントから抜き、本体上部にある「うちわボルト」をゆるめて本体を不燃枠（木枠）からはずす。



3.2 清掃のしかた

■羽根（清掃目安：約2～3か月に1度）

台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸して、スポンジなどで軽くこすって汚れを落とす。汚れを落とした後、水洗いし、よく乾かしてください。

■パネル（清掃目安：汚れが目立ってきたとき）

乾いた布でからぶきする。または、水洗いし、よく乾かしてください。

■本体（清掃目安：汚れが目立ってきたとき）

台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸した布で汚れをふき取った後、洗剤が残らないように乾いた布でからぶきしてください。

お願い

- 台所用中性洗剤に記載の使用量の目安まで薄めて使用してください。（洗剤は原液のまま使用しないでください）
- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。（台所用中性洗剤をご使用ください。ただし、柑橘系などの植物系洗剤はプラスチックが破損するおそれがあるため使用しないでください）シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうさんの薬剤、クレンザーなどの研磨剤入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など（異常音の発生、変質、変色や故障の原因になります）
- シャッターを開いたまま床などに置かないでください。
- モーター軸ピンのゴムキャップをはずさないでください。
- 羽根に水分が付着した状態でモーター軸に取付けしないでください。（モーター軸にサビが発生し、羽根がはずせなくなるおそれがあります）

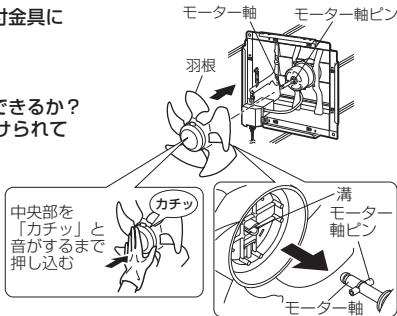
3.3 お手入れ後の組立てと確認

お手入れが終わりましたら、取りはずしと逆の順序で組立てる。

■ 部品の落下や故障を防ぐため以下の点検をしながら組立てる。

- ① 埋込コンセントがコンセント取付金具に確実に取付けられているか？（内部コンセントがある場合）
- ② 電源コードに傷はないか？
- ③ シャッターの開閉がスムーズにできるか？
- ④ 本体、羽根、パネルが確実に取付けられているか？

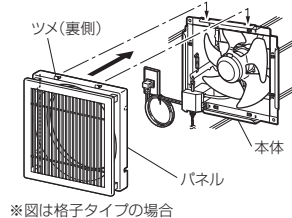
- 羽根は裏側の溝をモーター軸ピンに合わせながら、羽根中央部をモーター軸に挿入し、「カチッ」と音がするまで押し込む。
- 羽根中央部を軽く手前に引っ張り、羽根が確実に取付けられていることを確認する。



注意

- 羽根や部品の取付けは確実に行う部品の落下によりけがの原因。

- パネルは、パネル裏側上面のツメを本体上部に引っ掛けて取付けてください。

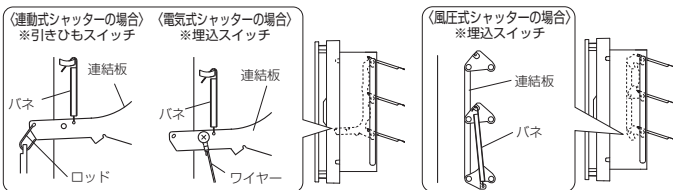


お願い

- うちわボルトに緩みがなく、本体が確実に固定されているか確認してください。
- 羽根中央部を軽く手前に引っ張り、羽根が確実に取付けられていることを確認してください。
- パネルを軽く引っ張ってはすれないことを確認してください。
- 引きひもにほつれ・緩みなどの異常がないか確認してください。

⑤ 電源を入れ換気扇の運転に異常がないか確認する。

- 連結板とパネの結合位置が正しいことを確認してください。



4.故障かな?と思ったら

以下のような症状があれば点検してください。
点検をしても直らない場合、また下記以外の現象が生じた場合は、必ず分電盤ブレーカーを切って（電源プラグを抜いて）からお買上げの販売店または、工事店にお申し付けください。

こんなとき	原因	点検してください
運転しない	本体に通電されていますか？	●分電盤ブレーカーを点検します ●停電ではありませんか？
運転中に異常な音がする	パネル、羽根が確実に取付けられていますか？ うちわボルトがゆるんでいませんか？	取付け直します うちわボルトが木枠にしっかりとあたるように締めます
シャッターが正常に動作しない	本体が変形していませんか？ （据付うちわボルトの締めすぎ） 本体、シャッターが変形していませんか？	うちわボルトをゆるめ本体の変形を直します 販売店または工事店へ確認します

5.アフターサービス

■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この換気扇の補修用性能部品を、製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 長年ご使用いただくためには換気扇のメンテナンスが必要です。
- モーターは消耗部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店から下記の「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。

■修理を依頼されるときは

- ご使用を中止し、電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

●修理料金は

- 技術料＋部品代（十出張料）などで構成されています。
 - 技術料…製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金です。
 - 部品代…修理に使用した部品代金です。
 - 出張料…お客様の要望により、製品のある場所へ技術員を派遣する費用（出張料）や有料駐車場の費用（駐車料）を別途いただく場合があります。

●ご連絡いただきたい内容

1. 品名	標準換気扇
2. 形名	EX-○○○○
3. お買上げ日	年 月 日
4. 故障の状況	（できるだけ具体的に）
5. ご住所	（付近の目印なども）
6. お名前・電話番号・訪問希望日	

- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

ご相談窓口・修理窓口のご案内（住宅用換気送風機）

取扱い・修理のご相談は、まず
お買上げの販売店・施工者・設備業者へ

- お買上げの販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品などは、**各窓口** へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについて

- 三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。
1. お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守、工事および製品のお取り扱いに關連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本製品ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
 2. 上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
 3. あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
 4. ①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合、②法令等の定められた範囲に基づく場合、③個人情報の取扱いに関するお問い合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口 住宅用換気送風機の購入相談・取扱い方法

●三菱電機換気送風機技術相談センター

フリーダイヤル
0120-726-471（無料）
携帯電話対応
三菱電機株式会社 中津川製作所 FAX (0573) 66-5659（有料）
〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

■ご相談対応

平日（土・日・祝及び弊社休日以外）
9:00～12:00
13:00～17:00

修理窓口 住宅用換気送風機の修理の問合せ・修理の依頼

受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター

パソコン・スマートフォン
www.melco.co.jp/support/
こちらから簡単にアクセスできます。

フリーダイヤル
0120-56-8634（無料）

携帯電話の場合
TEL **0570-01-8634**（有料）
FAX **0570-03-8634**（有料）

- 所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

S24A-KANKI-*

6.仕様

形名	給排	消費電力 (W)		風量 (m³/h)		騒音 (dB)		質量 (kg)	
		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz		
EX-20LK10-C, M	排	9.5	11.5	468	480	33.0	33.5	2.4	
EX-25LK10-C, M	排	14	17	690	690	32.0	32.0	2.8	
EX-30FK10-C	排	26	29	1050	1002	36.0	35.0	3.5	
	強弱	18	19	750	750	26.5	26.5		
EX-20EK10-C, M	排	10.5	12.5	468	480	33.0	33.5	2.6	
EX-25EK10-C, M	排	15	18	690	690	32.0	32.0	3.0	
EX-30EK10-C	排	27	30.5	1050	1002	36.0	35.0	3.6	
EX-20RK10-C	排	10	12	468	480	33.0	33.5	2.4	
	給	7	7.5	348	318	38.5	36.5		
EX-25RK10-C	排	15	18.5	702	702	32.5	32.5	2.8	
	給	9.5	11	432	432	34.0	34.0		
EX-30RK10-C	排	26	31	1050	1032	36.0	35.5	3.5	
	給	15.5	18	600	590	35.5	34.5		
EX-20SK10-C	排	12.5	14	456	468	33.5	35.0	2.3	
EX-25SK10-C	排	18	21	642	660	33.0	33.5	2.7	
EX-30SK10-C	排	30	35	1050	1002	38.0	37.0	3.4	
EX-20LX10-C	排	11	13	444	450	34.5	35.0	2.5	
EX-25FX10-C	排	強弱	15.5	19	612	630	33.5	34.0	3.0
	強弱	8.5	10.5	372	372	20.5	20.5		
EX-20EX10-C	排	12	14	444	450	34.5	35.0	2.7	
EX-25EX10-C	排	16.5	19.5	612	630	33.5	34.0	3.2	

※測定方法は JIS C 9603 による

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

【本体への表示内容】 ※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容を本体に表示しています。 【設計上の標準使用期間とは】 ※運転時間や湿度など、標準的な使用条件（右表による）に基づき経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。 ※本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、JIS C 9921-2に基づいて算出したもので、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものではありません。 ●本製品は取扱説明書記載の設置場所の想定時間を用いて設計上の標準使用期間を算出しています。 ●「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。		【製造年】 本体に西暦4ケタで表示してあります 【設計上の標準使用期間】 15年 設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。	
【設計上の標準使用条件】 JIS C 9921-2		■標準使用条件 JIS C 9921-2	
環境条件		電圧	100V 定格電圧による
		周波数	50Hzおよび60Hz 定格周波数による
		温度	20℃ JIS C 9603から引用
		湿度	65% JIS C 9603から引用
		設置条件	標準設置 据付説明書による
負荷条件		定格負荷	「6仕様」による
想定時間		1年間の使用時間	換気時間 2193時間/年 居室 2193時間/年

愛情点検

☆長年ご使用の換気扇の点検を！

ご使用の際 このようなことは ありませんか。	●スイッチを入れても羽根が回転しない。 ●運転中に異常音や振動がする。 ●回転が遅いまたは不規則。 （モーターはメンテナンスが必要な部品です） ●こげ臭いにおいがする。 ●本体据付部に腐食、破損などがある。	使用 中止

お客様 メモ	形 名				この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。 材質名は主材料にISO規定の略号を使用。
	お買上げ年月日	年	月	日	
	お買上げ店名 (住 所) (電話番号)	()			

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号